

介助保障運動の歴史 と現代的課題

岡田健司 長位鈴子 横山晃久

介助サービス委員会

この時間のながれ

① 介助サービス委員会の歴史(10min)

(a) 公的介助保障の展開

(b) 介助サービス委員会が受けとめたもの

② 鼎談(ていだん、60min)

(c) 初代委員長×先々代委員長×当代委員長

③ 質疑応答(30min)

① 介助サービス委員会の歴史

(a) 公的介助保障の展開

(b)介助サービス委員会が受け取めたもの

对等 + 所得保障 = 生活保障

資格 + 介護認定 =

24時間介助保障の引き下げ

対象拡大 + 24時間介助保障の拡大 =

権利性を損なった介助派遣の拡大

運動事業の法制化 + 高度な専門性 =

介助派遣事業の淘汰

②鼎談(ていだん)

(c)初代委員長×先々代委員長×当代委員長

アンケート集計後の取り組み課題(総括)

対象となっている人/PT	学習機会の保障	就労継続の保障
障害者役員	<ul style="list-style-type: none">●障害当事者育成プログラム●職員研修のバリエーション●自立支援後のフォロー	<ul style="list-style-type: none">●就業継続の取り組み(所得保障)●介助派遣事業モデル(組織基盤)●緊急時における介助体制の作り方
介助利用障害者	<ul style="list-style-type: none">●介助者とのトラブル対応	
健常者職員	<ul style="list-style-type: none">●コーディネーター育成プログラム	
一般介助職員	<ul style="list-style-type: none">●介助者育成プログラム●介助者の特性を踏まえた関係作り	<ul style="list-style-type: none">●介助者募集の仕方
労働法規全般		<ul style="list-style-type: none">●労働基準法●社会保険各種●介助(医療)過誤における責任の所在

③ 質疑応答